

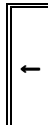
Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency



■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

# 評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グラントラファエロ 新築工事	階数	地上10F
建設地	札幌市東区北13条東3丁目280-15	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	63人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年5月24日
敷地面積	1,224 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	349 m <sup>2</sup>	確認日	2016年5月24日
延床面積	2,871 m <sup>2</sup>	確認者	

「配慮シート」に外観パースを張り付けて下さい。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 1.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.2

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>高層建築であるため敷地中央部に建物を配置し、北側に対する日影等を可能な限り最小限に留め、圧迫感を低減し近隣への配慮をしています</p> <p>「建築基準法」その他札幌市の各種の条例等を遵守しています</p>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>断熱を強化して「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の基準を満たしています</p>	
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>乾式間仕切の採用吹付ウレタンの断熱材使用等分別の比較の容易な資材の採用をしています</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>前面道路に面する可能な限りの植栽スペースの確保をしています</p> <p>「札幌市緑の保全と創出に関する条例」を遵守し可能な限りの植栽を行っています</p>	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>西側道路のエントランスに面した歩道までの空地にはロードヒーティングを取り入れ、駐車場においては、適宜降雪を行い敷地外へ雪を吹き飛ばすよう配慮をしています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される